

## 🌸 親子のための古代入門教室の実施

2012年7月27日と31日に「親子のための奈文研たんけんツアー」を催しました。平城地区は深澤副所長が、藤原地区は杉山副部長が案内人となり、夏休みを利用した子どもたちとともに、平城宮、藤原宮の復原建物や発掘現場、それに各整理室を回りました。当日は、猛烈な暑さにみまわれましたが、子どもたちは、普段はなかなか見られない作業の様子や遺物を真剣に見学していて、中でも木簡の見学では、研究員の説明をよそに、自分が読める字があることに嬉々としている子どもたちの姿が印象的でした。平城地区でおこなわれた拓本体験では、瓦整理室の拓本隊の指導のもと、子どもたち全員が見事な拓本を完成させました。出来あがった拓本は、きっと宝物となったことでしょう。

また、8月8日には、「親子のための古代体験—植物で美しい色を染めよう」に、「染司よしおか」(京都)の吉岡更紗さんをお招きし、藍染体験を実施しました。素材に使ったのは、副所長が丹精込めて育てた蓼藍たであい。これを1時間ほど手揉みし、漉して、布に色付けするという手間のかかる方法でしたが、布は美しい藍色に染まり、出来映えは古代人顔負けのものとなりました。

本企画は、これからの文化財保護の担い手である子どもたちに文化財に興味を持ってもらおうと開催したのですが、拓本や藍染めに夢中になっている子どもたちの姿、完成したときの笑顔を見るに、この主旨は十分に果たされたのではないでしょう。

(都城発掘調査部 芝 康次郎)



藍染め体験の一コマ(右端は吉岡更紗さん)